

# ラジエーションカード～見えているものだけが世界の全てではない～

【応募者】○有田 実華、安山 奈々穂（鹿児島医療技術専門学校、診療放射線技術学科）

【指導教員】東 幸浩（鹿児島医療技術専門学校）

対象	「中学生」
キーワード	カード、元素、放射線

## 1. はじめに

福島第一原子力発電所の事故以降、多くの人に放射線について誤った情報や放射線は恐ろしいものというイメージが植え付けられた。しかし、現在の医療現場において放射線は、画像診断や治療に当たり前のように使われており、無くてはならない存在である。これより、身近にある私たちの生活を支えてくれている放射線について中学生でもカードを使って遊びながら楽しく学ぶことができる教材を作成した。

## 2. 目的

身近な元素や放射線の種類や放射線装置を、カードを通して遊びながら理解すること。

## 3. 内容、遊び方

### 1) 内容

中学生で学ぶ原子の仕組みから、放射線や、それに応用した放射線装置についてカードに記述した。

### 2) 遊び方

放射線の種類を擬人化して放射線の強さや透過力を武器や攻撃力、防御力に例えて、対戦する。また、放射線装置を魔法カードのように利用することができる。

## 4. 新規性

カードは文字の説明と絵柄で中学生でもわか

りやすくした。また、放射線を学ぶことを目的としたカードゲームは実際に販売されているが、放射線の種類や遮断物の関係性に関してだけである。しかし今回作成したラジエーションカードは、放射線装置との関連性についても学ぶことができるようにした。さらに文字の説明は専門用語をできるだけ避けて、視覚的に分かりやすく作成した。

## 5. まとめ

福島第一原子力発電所の事故により、放射線の関心が高まり学校教育で学ぶ機会が増えた。しかし、放射線について難しく考える人は多い。そのためこのラジエーションカードから元素や放射線の種類、またどのように活用されているかを楽しく学んで理解することが期待される。

放射線は目には見えないが、身の周りに多く存在していることを実感してほしい。